

第126期中間 株主通信

2016年4月1日 ▶ 2016年9月30日



飯野海運株式会社

証券コード：9119



代表取締役社長

當 倉 裕 己

Ⅱ 当中間期の事業環境について

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第126期中間株主通信(2016年4月1日から2016年9月30日まで)をお送りするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当中間期(第2四半期連結累計期間)の世界経済は、米国・欧州を中心とした先進国で緩やかに景気拡大の動きが見られる一方、中国をはじめとする新興国の景気が減速しました。わが国経済は、所得・雇用環境の改善と設備投資、個人消費の底堅い動きが見られますが、円高・株安が景気を下押しするリスクもあり、足踏み状態が続きました。

Ⅱ 当中間期の取り組み・業績について

当社グループの海運業においては、為替が前年同期に比べ円高に推移したことや市況の低迷等により、全ての船種において総じて厳しい市場環境となりました。そのような中、オイルタンカー及び大型ガスキャリアは中長期契約への継続投入により安定収益を確保しました。ケミカルタンカーでは数量輸送契約を中心に順調に稼働を維持し、効率配船及び運航採算の向上を図りました。一方で、ドライバルクキャリアにおいては採算の改善を図るため、不採算船処分等の対策を講じました。海運業界は厳しい

目 次

- | | |
|--------------|----------|
| 1 株主の皆様へ | 7 連結財務諸表 |
| 2 ビジネスレポート | 9 会社概要 |
| 5 ニュース&トピックス | 10 株式情報 |
| 6 連結財務ハイライト | |

事業環境が続いておりますが、引き続き様々な対策を打つことで乗り越えていきたいと考えております。

不動産業においては、都心では期首以降目立った新規供給はなく、企業業績の改善、人員拡大等を背景としたオフィスの拡張・統合需要によりオフィスビル賃貸市況は緩やかな改善を見せました。そのような中、飯野ビルディングは引き続き順調に稼働しており、当中間期に大口テナントが退去した所有ビル1棟においても、新たなテナントとの契約により、満床とすることができました。その他の各ビルにおいても良質なテナントサービスの提供に注力し、概ね順調に稼働しました。

以上の結果、売上高は418億40百万円、営業利益は31億34百万円、経常利益は19億92百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億35百万円となりました。

なお、当中間期の配当につきましては、安定配当を継続するという当社基本方針に基づき、1株当たり普通配当5円とさせていただき、期末配当金は5円、通年で10円を予定しております。

今後とも株主の皆様のご期待にお応えできるよう精励いたしますので、引き続き倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



外航海運業

74.4%

売上高
営業利益

311億37百万円
12億87百万円

売上高比率

100

オイルタンカー

オイルタンカー市況は、夏場の不需要期であることや新造船の増加等により大幅に軟化しました。

当社グループのオイルタンカーにおいては、支配船腹を長期契約に継続投入することで、安定収益を確保しました。



大型ガスキャリア

LPGキャリア市況は、新造船の集中的な竣工による船腹供給の増加から引き続き軟化傾向となりました。一方、LNGキャリア市況は、稼働船腹量に対する輸送需要の伸びが限定的で、スポット市況は引き続き低水準に留まりました。

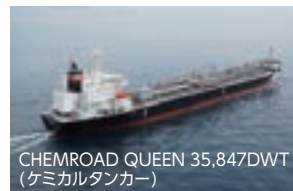
当社グループの大型ガスキャリアにおいては、LPGキャリア及びLNGキャリア共に中長期契約へ継続投入することで安定収益を確保しました。



ケミカルタンカー

ケミカルタンカー市況は、好況であった北米からアジア向けのメタノール、エタノール等の長距離輸送が減少したことや、インド・パキスタン向けのパームオイルの輸送需要が引き続き低迷していることに加えて、市況の下落による石油製品船のケミカル市場への参入圧力が強まったこと等により、総じて軟化しました。プロダクトタンカー市況は、在庫高等による荷動きの低下と船腹余剰から低調に推移しました。

当社グループのケミカルタンカーにおいては、主要航路である中東からアジア・欧州向け輸送及び北アフリカからインド向け燐酸液輸送は、引き続き安定した数量を確保し効率的な配船を維持しました。東南アジアからインド、パキスタン向けのパーム輸送の落ち込みに対応するため、東アジアからのスポット貨物の集荷を集中的に行い、安定した稼働を維持しました。当社と米国オペレーターとの合併事業会社では大西洋域内を中心に、数量輸送契約に加えてスポット貨物も効率的に集荷し、稼働を維持しました。プロダクトタンカーにおいては、支配船腹を中長期契約に継続投入しました。



ドライバルクキャリア

ドライバルクキャリア市況は歴史的な低水準からは脱したものの、依然として低調に推移しました。

当社グループのドライバルクキャリアにおいては、石炭専用船とチップ専用船は順調に稼働し、パナマックス船は不採算船の処分を実施しました。一方、ハンディ船は、効率的な配船・運航による採算の向上に努めましたが、市況は低水準で推移し、当社の支配船腹においてもその影響を避けることは出来ませんでした。



内航・近海海運業

9.8%

売上高
営業利益

41億 1百万円
△71百万円

売上高比率

100

小型ガスキャリア

内航ガス輸送は、LPGが夏場の不需要期に入り、荷動きは低迷しました。石油化学ガスにおいては、プラントの定期修繕による輸送の減少は見られましたが、プラントトラブルにより貨物の融通に伴う輸送需要増加といった動きも一部ではありました。内航ガス船の船腹量に大きな変化は見られず、海上荷動きは軟調に推移しました。当社グループの内航ガス輸送においては、エチレン船1隻を処分したことや入渠等の影響で収益が減少しました。また、LPGの不需要期ということもあり、市況低迷の影響を受けたものの、石油化学ガスのスポット需要を取り込むことで稼働及び採算の維持に努めました。

近海ガス輸送は、日本国内のプラントの定期修繕により、輸出の縮小が見られ、中国向け主要貨物であるプロピレンの同国内生産が増加したこともあり、荷動きは活発ではありませんでした。当社グループの近海ガス輸送においては、一部の船舶で契約の有利更改を果たしましたが、市況低迷の影響を受け、採算は悪化しました。



徳邦丸 1,830m(小型LPGキャリア)

不動産業

15.8%

売上高
営業利益

66億42百万円
19億18百万円

売上高比率

100

不動産賃貸／不動産関連事業

都心のオフィスビル賃貸市況は、大型物件の竣工が集中した期首以降、目立った新規供給はなく、企業業績の改善、人員拡大等を背景としたオフィスの拡張・統合需要により、既存ビルを含めた全体の空室率は低下し、賃料水準は緩やかな上昇傾向を見せました。当社グループの賃貸ビルにおいては、テナント退去のあった所有ビル1棟において、新たなテナントと契約を結ぶことが出来ました。その他の各ビルにおいても継続して良質なテナントサービスの提供に注力し、概ね順調に稼働しました。

貸ホール・貸会議室においては、多数の競合施設があり、厳しい顧客獲得競争が続く中、当社グループのイイノホール&カンファレンスセンターにおいては、セミナー、講演会、映画試写会、その他催事の積極的な誘致により、稼働の維持に努めました。

スタジオ関連事業は、広告需要、雑誌需要とも低迷し、使用料の単価も低調に推移しましたが、当社グループのイイノ・メディアプロにおいては、主力のスタジオ部門及びレタッチ、ロケーション、プロダクションの各部門で積極的な利用誘致に努め、稼働は堅調に推移しました。



イイノホール



運航船腹

(2016年9月30日現在)

保有形態 船種		社 船		用 船		合 計	
		隻 数	重量トン数	隻 数	重量トン数	隻 数	重量トン数
外航海運業	オイルタンカー	2	601,911	1	105,405	3	707,316
	ケミカルタンカー	13	431,785	27	873,405	40	1,305,190
	大型ガスカリヤ	15	1,019,681	3	132,598	18	1,152,279
	ドライバルクキャリア	5	403,994	17	659,771	22	1,063,765
内航・近海海運業	小型ガスカリヤ	18	32,491	11	37,082	29	69,573
合 計		53	2,489,862	59	1,808,261	112	4,298,123

(注) 1. 社船には、グループ会社が所有する船腹を含みます。
2. 社船の重量トン数には共有相手持分を含めて記載しております。

賃貸ビル

(2016年9月30日現在)

名 称	所在地・延床面積 (m ²)
飯野ビルディング	東京都千代田区内幸町 103,826.88
汐留芝離宮ビルディング	東京都港区海岸 32,702.37
東京桜田ビル	東京都港区西新橋 17,762.63
東京富士見ビル	東京都千代田区富士見 10,674.86
飯野竹早ビル	東京都文京区小石川 4,736.37
笹塚センタービル	東京都渋谷区笹塚 11,973.11
合 計	181,676.22

(注) 汐留芝離宮ビルディング、東京桜田ビル及び東京富士見ビルは他者と共有しており、延床面積には他者持分も含めて記載しております。

主なグループ会社

(2016年9月30日現在)

外航海運業	船舶の運航及び貸渡	Chemroad Echo Navigation S.A.
	船舶管理	イノマリンサービス(株)
	海運仲立業及び舶用品売買	イイノエンタープライズ(株)
内航・近海海運業	運航・貸渡及び船舶管理	イイノガストランスポート(株)
不動産業	ビル管理	イイノ・ビルテック(株)
	倉庫業	泰邦マリン(株)
	フォトスタジオ	(株)イイノ・メディアプロ

News & Topics

ニュース&トピックス

Topics 01

飯野ビルディングが
「第57回(2016年)BCS賞」及び
「第42回 東京建築賞 優秀賞」受賞

「飯野ビルディング」が、一般社団法人日本建設業連合会による「第57回(2016年)BCS賞」及び一般社団法人東京建築士事務所協会による「第42回東京建築賞 優秀賞」を受賞しました。

特にBCS賞は、国内の良好な建築資産の創出を図り、文化の進展と地球環境保全に寄与する事を目的に、優秀な建築作品を表彰するもので、建築主、設計者、施工者の三者相互の理解と協力の下、デザイン、施工技術、稼働後の建築物の運用、維持管理等を総合評価し選出されます。建替え前の旧飯野ビルディングにおいても、「第3回(1962年)BCS賞」(当時の建築業協会賞)を受賞しており、建替え計画時から、新ビルでの同賞受賞も目指すところでありました。

今後とも今回の受賞に恥じぬビル/施設運営に努めて参ります。



イノの森から見た飯野ビル

Topics 02

IINO SINGAPORE PTE. LTD.
ケミカルタンカーの運航事業
シンガポールへの移転10周年

当社グループのケミカルタンカー事業における運航機能をシンガポールのIINO SINGAPORE PTE. LTD.に移転し、同社が事業を開始してから本年で10周年を迎えました。9月22日に同地で行われた記念パーティーには、同国内の顧客及び関係先を中心に総勢約150名が出席し、当社代表取締役社長當舎裕己より取引各社への感謝及び一層のご支援のお願いを述べました。パーティーは出席者参加の和太鼓演奏等もあり盛況のうちに終わりました。

また、事業開始10年という節目を機に、本年5月よりシンガポールのビジネス中心地域であるタンジョン・パガー地区に事務所を移転しております。

当社グループは、ケミカルタンカーの運航業務に関し今後とも同地において安定輸送、安全運航に努めて参ります。



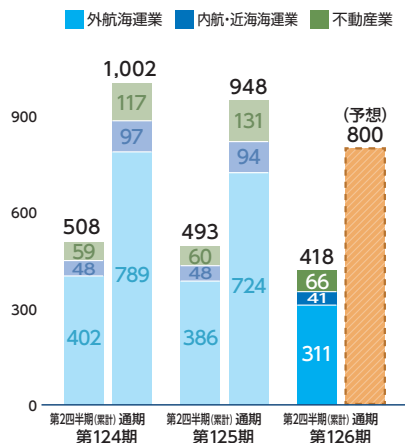
記念パーティーでの集合写真

Consolidated Financial Highlights 連結財務ハイライト



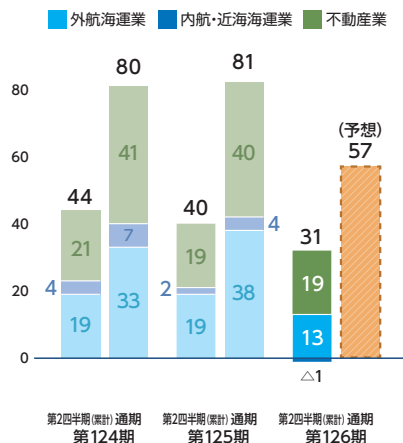
売上高

(単位:億円)



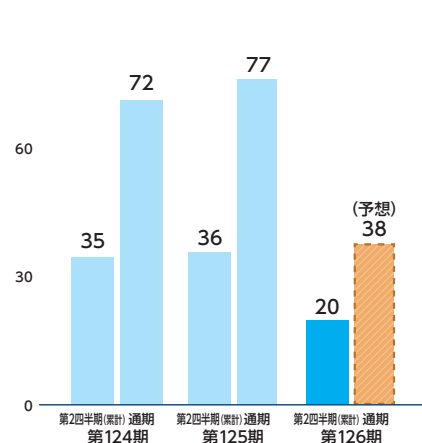
営業利益又は損失(△)

(単位:億円)



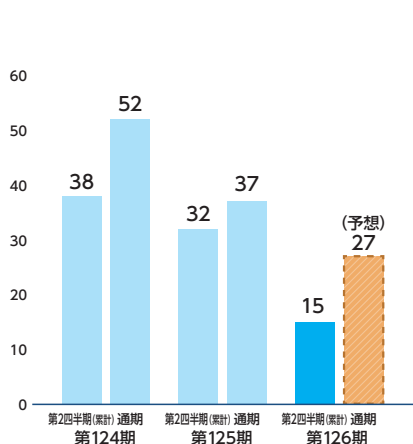
経常利益

(単位:億円)



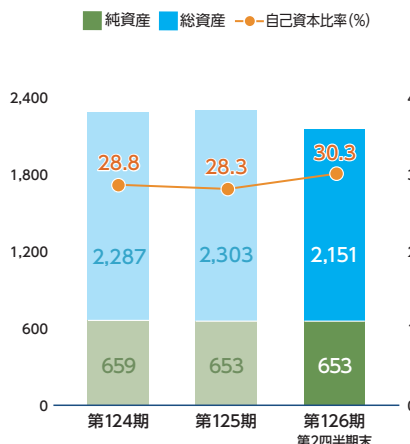
親会社株主に帰属する純利益

(単位:億円)



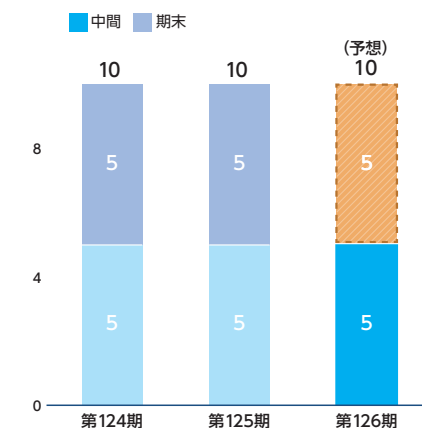
純資産/総資産(自己資本比率)

(単位:億円)



配当金

(単位:円)



※表示金額未満を四捨五入しております。

Consolidated Financial Statements 連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円、単位未満四捨五入)

科 目	前連結会計年度末 (2016年3月31日現在)	当第2四半期連結 会計期間末 (2016年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	29,125	23,666
固定資産	201,153	191,384
有形固定資産	181,113	172,269
無形固定資産	578	661
投資その他の資産	19,463	18,454
資産合計 ①	230,278	215,050
負債の部		
流動負債	35,342	37,351
固定負債	129,651	112,434
負債合計 ①	164,993	149,784
純資産の部		
株主資本	61,322	62,303
資本金	13,092	13,092
資本剰余金	7,613	7,613
利益剰余金	40,667	41,648
自己株式	△49	△49
その他の包括利益累計額	3,874	2,775
その他有価証券評価差額金	2,045	1,450
繰延ヘッジ損益	719	555
為替換算調整勘定	1,110	770
非支配株主持分	89	187
純資産合計	65,285	65,265
負債純資産合計	230,278	215,050

① 資産・負債

資産合計は、減価償却費の計上及び船舶売却等により前期末比152億29百万円減少の2,150億50百万円となりました。負債合計は、借入金の減少等により前期末比152億8百万円減少の1,497億84百万円となりました。

② 営業利益

飯野ビルディングをはじめとする各ビルが順調に稼働した一方、為替が前年同期に比べ円高に推移したことや市況の低迷等の影響により営業利益は31億34百万円（前年同期比8億59百万円の減益）となりました。

③ 経常利益

為替が前年同期に比べ円高に推移したことや持分法投資損益が減益となったこと等により、経常利益は19億92百万円（前年同期比16億12百万円の減益）となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円、単位未満四捨五入)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自 2015年4月 1 日 至 2015年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2016年4月 1 日 至 2016年9月30日)
売上高	49,328	41,840
売上原価	42,010	35,223
売上総利益	7,318	6,617
販売費及び一般管理費	3,326	3,483
営業利益 ②	3,993	3,134
営業外収益	974	696
営業外費用	1,362	1,838
経常利益 ③	3,604	1,992
特別利益	533	115
特別損失	889	523
税金等調整前四半期純利益	3,248	1,585
法人税等	55	49
四半期純利益	3,193	1,536
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,184	1,535



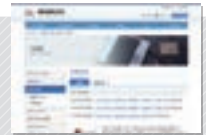
連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位：百万円、単位未満四捨五入)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自 2015年4月 1 日 至 2015年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2016年4月 1 日 至 2016年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	7,432	6,236
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,277	1,715
財務活動による キャッシュ・フロー	△5,336	△11,727
現金及び現金同等物に 係る換算差額	2	△552
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△1,179	△4,329
現金及び現金同等物の 期首残高	11,965	14,326
現金及び現金同等物の 四半期末残高	10,787	9,997

● キャッシュ・フロー分析 🔍

- 「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、主に税金等調整前四半期純利益と減価償却費により62億36百万円のプラスとなりました。
- 「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、主に船舶を中心とした固定資産の売却による収入が、船舶及び不動産への設備投資を中心とした固定資産の取得による支出を上回ったことにより17億15百万円のプラスとなりました。
- 「財務活動によるキャッシュ・フロー」は主に長期借入金の返済による支出が、長期借入れによる収入を上回ったことにより117億27百万円のマイナスとなりました。

詳細につきましては当社ホームページ
よりご覧いただけます。



<http://www.iino.co.jp/kaion/ir/brief.html>

(単位：億円)

科 目	第124期		第125期		第126期	
	第2四半期(累計)	通期	第2四半期(累計)	通期	第2四半期(累計)	通期(予想)
売上高	508	1,002	493	948	418	800
海運業	450	886	434	818	352	—
外航海運業	402	789	386	724	311	—
内航・近海海運業	48	97	48	94	41	—
不動産業	59	117	60	131	66	—
営業利益	44	80	40	81	31	57
海運業	23	39	21	41	12	—
外航海運業	19	33	19	38	13	—
内航・近海海運業	4	7	2	4	△1	—
不動産業	21	41	19	40	19	—

※表示金額未満を四捨五入しております。

会社概要

商 号	飯野海運株式会社 IINO KAIUN KAISHA, LTD.（略称：IINO LINES）		
創 業	1899（明治32）年7月		
資 本 金	13,091,775,488円		
主 要 事 業 内 容	海運業、不動産業		
本 社	〒100－0011 東京都千代田区内幸町二丁目1番1号飯野ビルディング		
事 業 所	海外 ドバイ、大連 海外現地法人 シンガポール、ロンドン、コネチカット、ヒューストン		
グ ル ー プ 会 社	連結対象子会社	54社	
	持分法適用関連会社	4社	
	連結対象外関係会社	10社	
	合計	68社	
上 場 取 引 所	東京（第一部）、福岡		

取締役及び監査役並びに執行役員

取締役及び監査役

代表取締役社長	當 舍 裕 己
代 表 取 締 役	近 光 護
取 締 役	大 島 久 弘
取 締 役	岡 田 明 彦
取 締 役	小 藺 江 隆 一
取 締 役	神 宮 知 茂
取締役（社外）	遠 藤 茂
取締役（社外）	大 江 啓
監査役（常勤）	星 野 憲 一
監査役（常勤）	橋 村 義 憲
監査役（社外）	鈴 木 進 一
監査役（社外）	堀之内 博 一

執行役員

社長執行役員	當 舍 裕 己	
専務執行役員	近 光 護	経理部管掌及び人事部担当
専務執行役員	大 島 久 弘	船員部担当、海務安全部担当及び イイノマリンサービス㈱代表取締役社長
常務執行役員	岡 田 明 彦	総務・企画部担当
常務執行役員	小 藺 江 隆 一	ケミカル船第一部担当、ケミカル船第二部担当及び IINO SINGAPORE PTE. LTD.取締役社長
常務執行役員	神 宮 知 茂	経理部担当、経理部長委嘱及び イイノマネジメントデータ㈱代表取締役社長
執 行 役 員	古 澤 宏	専用船・不定期船舶担当
執 行 役 員	荒 木 俊 雄	船員部担当補佐、海務安全部担当補佐及び イイノマリンサービス㈱常務取締役
執 行 役 員	長 谷 川 陽 一	油槽船・ガス船舶担当
執 行 役 員	佐 藤 仁	イイノガストランスポート㈱代表取締役社長
執 行 役 員	小 林 宏 是	不動産事業部担当及び不動産事業部長委嘱

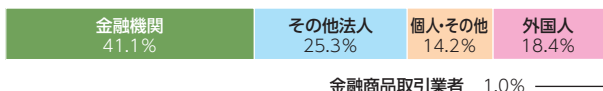
（注）当社は、上場している各証券取引所に対して、取締役 遠藤茂、取締役 大江啓及び監査役 鈴木進一の各氏を独立役員として届出ております。



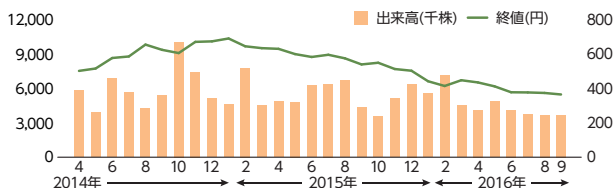
株式の状況

発行可能株式総数	440,000,000株
発行済株式の総数	111,075,980株
株主数	9,200名

所有者別株式分布状況



株価及び出来高の推移



インフォメーション

「特別口座」で株式をお持ちの株主様へ

株券電子化前に証券保管振替機構(ほふり)へ預託されなかった株主様には、当社の株主名簿管理人である三井住友信託銀行に「特別口座」を開設しております。特別口座は、株主様の権利を保全するための暫定的な口座であり、この特別口座に記録された株式は、証券会社の取引口座に振り替えなければ売買できませんので、お早めに証券会社の取引口座への振替をお願いいたします。

特別口座からの振替のお手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行又はお取引先の証券会社へお問い合わせください。

詳細につきましては当社ホームページよりご覧いただけます。

<http://www.iino.co.jp/kaiun>

飯野海運



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
川崎汽船株式会社	5,940	5.34
東京海上日動火災保険株式会社	5,264	4.73
株式会社みずほ銀行	4,941	4.44
飯野海運取引先持株会	4,249	3.82
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	3,949	3.55
三井住友信託銀行株式会社	3,622	3.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,576	3.22
NOMURA SINGAPORE LIMITED CUSTOMER SEGREGATED A/C FJ-1309	3,229	2.90
RBC ISB S/A DUB NON RESIDENT/TREATY RATE UCITS-CLIENTS ACCOUNT	2,300	2.07
日本生命保険相互会社	2,256	2.03

(注) 1. 持株数は、千株未満を切捨てております。

2. 大株主及び持株比率からは、自己株式(106,204株)を除いております。

マイナンバーについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

- **マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先**
証券口座にて株式を管理されている株主様
➡ お取引の証券会社
証券会社とのお取引がない株主様
➡ 三井住友信託銀行 証券代行部 0120-782-031
- **株式関連業務におけるマイナンバーの利用**
なお、当社は、法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署に提出いたします。

株主メモ



事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月に開催いたします。
定時株主総会の基準日	3月31日 なお、上記のほか必要があるときは、 予め公告いたします。
配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日（中間配当実施の場合）
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告の方法	電子公告 ただし、電子公告によることができない事故 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に掲載して行うこととします。 当社の公告はホームページに掲載しております。 http://www.iino.co.jp/kaiun
飯野海運株式会社	〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目1番1号 飯野ビルディング 電話 (03)6273-3069



環境保全のため植物油インキを
使用して印刷しています。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

WEBサイトのご紹介

当社では企業活動に関するお知らせや資料などを
WEBサイトに公開しており、随時最新版が同サイト
で確認できるようになっております。

飯野海運



<http://www.iino.co.jp/kaiun>



トップページ



IR情報トップ



IINO LINES